

第126回茨城ハンドセラピィを語る夕べ

手は小さなスペースに軟部、関節、骨、神経、血管が存在するうえその損傷形態は非常に多岐に渡るため、日々多くの疑問や難問にぶつかります。

でも使える手 (Useful Hand) になって欲しい！

受傷前にできていたことをできるようになって欲しい！！

この勉強会は、疑問、問題点について症例を通して考えてみようというものです。手の怪我は手術・後療法それぞれが大切で医師とセラピストの知識・技術・目標の共有が重要です。

日時：2026年2月19日（木）19:30～

方法：Zoomを利用してのオンライン開催

<演題>

① 「交通外傷により左肘開放骨折、橈骨遠位端骨折を受傷し、肘ヒンジ付き創外固定を長期間要した症例
～ヒンジ付き創外固定期間でも出来ることは？～」

　　プレゼンター　　土浦協同病院　　橋本紳也
　　サポートプレゼンター　　水戸赤十字病院　　荒井裕久

② ご相談症例がございましたらお持ちください

①事前お申し込みが必要です。下記アドレスにご連絡お願いいたします。

②お申し込みいただいた方には当日のURL*ÄiO*を開催日直前にお送りいたします。

③ご相談症例等がございましたら是非お持ちください。当日の共有操作が心配な先生は事前に下記メールアドレスまでスライドを送っていただければ当日運営側で共有操作させていただきます。

④これから参加したい、というお知り合いの先生がいらっしゃいましたら是非下記メールアドレスまでお名前とメールアドレスのご連絡をお願いいたします。

手術はどうやってるの？

スプリントって難しくない？



ハンドセラピィってどんなもの？



お問い合わせ：

わかすぎ整形外科・手の外科クリニック
茨城西南医療センター病院　　整形外科

朝比奈郁子　iku33iku2000@yahoo.co.jp
市村晴充